

普及現地情報



発信年月日:令和7年(2025年)8月5日

所 属 名:東近江農産普及課

番 号: D25013

発 信 者 名:西村、北条、川嶋

JA グリーン近江オーガニック研究会において 水稲品種「きらみずき」現地研修会を実施しました！

JA グリーン近江オーガニック研究会では、穂肥や後半の水田の管理を適切に行うため、各会員のほ場を巡回する現地研修会を7月9日に行いました。当課からは、各農業者のこれまでの耕種概要や生育経過、今年の高湿年における施肥や水管理などの管理上のポイント等を説明しました。

JA グリーン近江オーガニック研究会では、オーガニック「きらみずき」の会員のほ場を巡回する現地研修会を行っています。研究会の中では、「健苗育成」、「雑草対策」が課題となっていることから、今年度は、初期の抑草対策の有効な手段の1つとして「アイガモロボ2」を会員が1台ずつ実証しています。その結果、「アイガモロボ2」の抑草対策効果が確認されましたが、ほ場の均平が悪く、田面の高い部分では、水稲へダメージを与えるなどの問題も発生しました。

今年は、梅雨が例年になく短くなり、高温・少雨で推移しており、今後も高温が続くと予想されることから、穂肥の施肥、水管理が特に重要になります。今回の研修会において各会員間で活発な情報交換ができ、穂肥の施肥量とタイミング等を確認したところです。

当課では、今後も「オーガニックきらみずき」が安定生産できるよう、生産者への伴走支援と関係機関との連携を行っていきます。



会員によるほ場の観察(日野町北畑)



「きらみずき」ほ場(日野町上迫)